

第7回「(仮称) JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画」策定懇談会 議事録

1 日時 令和7年9月1日(月) 14:00~15:30

2 場所 ライトキューブ宇都宮 2階 大会議室202

3 出席委員

学識経験者

森本 章倫 会長

関係団体

稲葉 浩幸 氏(坂本 守弥 委員 代理)

近野 泰 委員 庄司 元康 委員 村上 龍也 委員

栗原 伸一 委員 増田 良二 委員 梓澤 昌徳 委員 寺澤 悦夫 委員

小関 裕之 委員 鈴木 孝弘 委員

交通事業者

神保 成究 委員 石原 玲一 氏(吉田 元 委員代理)

毛木 昭司 氏(荒井 勝 委員代理) 酒井 典久 委員

行政機関

橋本 達雄 委員 坂入 芳昭 氏(本間 毅 委員代理)

萩原 淳平 氏(高村 由総 委員代理)

事務局

都市整備部 野澤次長

都市整備部 市街地整備課 上田課長 佐藤係長 高谷主任

嶋村主任技師 鈴木主事 寺岡主事

4 会議経過

(1) 開会

(2) あいさつ

森本会長

今回で第7回目となる本懇談会は、これまでの議論を通じて駅西口周辺地区のあり方について多くの意見をいただき、先月第6回の書面開催では駅前広場の空間構成案の方向性をご提示し、皆様から一定のご理解を賜りながら調整を進めてきました。

8月26日にはライトラインが2周年を迎え、利用者数が1,000万人を超えるなど順調に進展している状況です。さらに、8月19日に「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」を開催し、駅西側ライトライン延伸や交通結節点などの検討状況について議論を行い、今後、ライトラインの

整備を進める具体的手続きが進められることと存じております。

駅西口周辺地区整備は、地区全体の空間構成や交通インフラにおいて大きな価値をもつプロジェクトとなっています。本日はこうした重要な背景を踏まえ、意見交換を通じて一步でも前進できるよう議論を行いたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

(3) 会議の公開について

本会議は公開として決定

(4) (仮称) JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について

- ・ 事務局から資料1に基づき説明

森本会長

それでは、皆様よりご質問やご意見を伺いたいと思います。

森本会長

まずは、本日ご欠席の中井委員及び長田委員より事前にご意見をいただいているとのことですので、事務局からご説明をお願いいたします。

事務局

(中井委員意見代読)

駅前広場の平面図イメージについて、タクシー乗降場をバスロータリーと一体にする変更は、利用者の便を考えると最も適当な変更であると思います。

しかし、タクシープール等付随するスペースを従来通りの面積で配置すると、せっかく地上に設けようとしている歩行者のための広場空間・交流空間が著しく圧迫・阻害される可能性が大きく、駅を降りたら目の前の地上はほとんど車のための空間に占められているという、現在の宇都宮駅前のまったく人に優しくない前時代的駅空間のイメージが、形を変えて再生産される結果になることを、非常に恐れます。

タクシーのプール空間のあり方について、中長期的視野からの議論も含めて、知恵を出すことが不可欠であると考えます。

事務局

交通空間については、懇談会においてこれまでもご意見としていただいております。今後、ライトラインの開業時における駅前広場の整備に向けた設計を進める中で、タクシー待機場の効率化などについて、事業者の皆様と議論させていただきながら、人中心の空間形成につなげてまいります。

更に、ライトライン開業後も引き続き、将来の交通需要の変化に対応できる可変性のある空間として、空間の使い方など効率化も検討しながら、人中心の空間の形成を目指してまいります。

<p>事務局 (長田委員意見代読)</p>	<p>土地利用方針について、整備基本計画を踏まえ、駅前広場の再整備と並行して、民間街区の再編にも積極的に取り組んでいただきたいと思います。特に、北地区は、再開発などによる都市機能の誘導に加え、集約駐車場の整備や土地の有効活用に向けた基盤整備などを一体的に進めていく必要があることから、スピード感をもって、関係機関が連携して取り組んでいただきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>民間街区の再編にあたっては、整備基本計画をお示ししながら、官民で一層連携を深め、事業化に向けた取組を加速化できるものと考えております。</p> <p>北地区についても、本計画を踏まえながら、権利者との意見交換や、まちづくりに関する勉強会の設置など、基盤整備や再開発などの検討を進めてまいります。</p>
<p>酒井委員</p>	<p>資料20ページにあります2階の交流広場について、当初計画にはなかった2階交流広場を設置することとなり、関係者の皆様へ感謝申し上げます。</p> <p>今後、ライトラインを駅西口のシンボルとして位置付け、地域の顔としてご活用いただくのであれば、交流広場をもう少し北側に広げていただきたいと思います。本図面上では「ライトライン停留場」と記載されている箇所の東側を、一体的に交流広場として整備いただけると、ライトライン乗降者が集まる場として機能するとともに、一層シンボリックな空間になるものと考えます。</p> <p>次に、昨今の豪雨や猛暑に関する見解ですが、この交流広場及びライトライン停留場につきまして、広場全体を覆う大屋根の設置をご検討いただくと非常に有益であると考えます。これにより、雨天時や猛暑時、熱中症対策においても有効なものとなると思います。</p> <p>最後に、ライトライン停留場のホームの長さについて、関係機関と連携の上、必要な規模を具体化していただきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>2階広場については、駅を出て宇都宮を最初に感じる空間として、地域のシンボルとなるライトラインとの一体感を醸成する広場を配置いたしました。広場レイアウトについては、懇談会での意見を踏まえつつ、1階部分で暗がりが増えすぎないように配慮しながら、今後基本設計を進める中で規模感など具体化してまいります。</p> <p>加えて、ライトライン停留場に合わせた形で2階通路の設置を予定しております。図面上では停留場の周りに示す赤いライン部分が該当し、幅や滞留スペースについて今後、基本設計の中で具体化していく考えで</p>

す。停留場周辺は、利用者が滞留できるよう、快適な環境空間として検討しております。また、2階広場への大屋根設置についても、昨今の気候変動を踏まえ、暑さ対策を含めた屋根の設計を検討してまいります。

森本会長 今のご意見に加えて、屋根が広場景観的に美しくなるよう、検討いただきたいと思えます。

近野委員 資料20ページにあります北地区について、北地区は、LRTが延伸される路線右側に位置していますが、整備後の駅前広場に設ける一般車駐車スペースを挟む形で完全に分断されており、駅前広場や周辺街区との繋がりが乏しく感じています。北地区に賑わい空間を形成するため、2階空間で広場と北地区に繋がりを果たせるニュアンスを加えて記載してほしいと思えます。特に、地図上に示された北地区に向かう左右に伸びる破線矢印、田川に向かう縦（上下）に伸びる破線矢印に対しても、繋がりを意識した工夫をお願いしたいと思えます。

また、北地区の賑わい空間形成に関してはスピード感を持って議論してほしいと思えます。

事務局 資料に示されている赤破線矢印については、駅前広場と周辺民間街区を結ぶ重要な軸であると考えています。駅前広場の2階平面図について、歩行者通路は、広場内の公共空間のみ実線で示されていますが、将来的には周辺民間街区の再編にあわせ、赤破線で示す広場から北地区や田川方面へ伸びていくような歩行者軸も形成していく必要があると考えており、整備に当たっては、官民連携しながら取り組んでまいります。

森本会長 資料5ページにあります北地区につきまして、西口周辺地区の対象範囲は11ヘクタールある中で、駅前広場に関しては、現在かなりの精度で空間のイメージが整ってきています。一方、2階レベルにおいて、駅前広場から北地区、周辺地区をどう繋いでいくかといった点については引き続き検討が必要だと思えます。今後周辺エリアも含めた歩行者動線の形成と、人と環境に優しい空間づくりについて議論が必要であると思えます。

村上委員 資料19ページの駅前広場の平面図イメージについて、一般車乗車待ちスペース、交流広場、バス空間、タクシー空間について場所のイメージはできるが、具体的な内容についてはまだ不明瞭な部分があると思えます。

また、現状、バス、タクシーは宮の橋交差点から、一般車は博労町交差点から駅前に入る動線が検討されていますが、例えば、宮の橋交差点

が動線の分岐点ではなく、一本西側の上河原交差点で一般車とバス・タクシーを分岐し、一般車は上河原交差点を左折し博労町交差点から直進で駅前に入る、そして、田川沿いの道路はあまり利用しない形の動線にすることで、ルートの明確化が図れ、渋滞の緩和などにもつながるのではないかと思います。

また、「自転車のまち宇都宮」と掲げている中、駅前では、駐輪場の不足や動線に関する課題もあると感じています。学生利用も多い状況を考慮し、今後、駅周辺の駐輪場をどう確保していくのか、また、駅周辺における自転車の北側および南側の通行ルートを明確化していかないと、駅前が混乱することになるため、車両動線と同様に自転車動線も検討していただきたいと思います。

事務局

ご指摘のとおり、駅へのアクセスを円滑にするためには、まちなかを含めたもう少し広い範囲での検討が必要と考えています。その中で、宮の橋の一本西側にある交差点で、駅へ誘導するような動線のイメージを考えていく必要も出てくると思われるため、ご意見を参考させていただきながら、道路ネットワークなどの強化に向け、関係課と連携しながら検討を進めてまいります。

また、自転車についても、現在、駅北側には約3,000台規模の市営駐輪場があり、南側にはJR高架下の駐輪場が存在している状況です。今後、駅前からまちなかへ走る自転車動線の考え方や駐輪場の配置については「自転車のまち推進計画」との連携を図りながら議論を深めてまいります。

森本会長

自転車については、LRTの西側延伸に伴い、現在通学で使用されている一部がLRT利用に転換することが想定されるため、必要な駐輪施設の規模や、自転車が快適で安全に使用できるルートについては引き続き議論していただければと思います。

また、関連する話としましては、駅前広場の交通空間については時間軸の中で変化していくことが想定されます。交通計画的には、バス台数が変化してくるということ、また、欧米諸国が行っているようなロボットタクシーをはじめとする自動運転車両が宇都宮でも導入されることが想定され、今回の議論で、タクシー空間とバス空間が一体となったことは、自動運転が進む中で良いシナリオと考えており、今後、一般車両と自動運転車両が混在することで発生する課題に対応するため、宮の橋交差点を基準として、駅側は公共的空間とし、自動運転車両のみが通行可能となる交通規制もぜひ考えていただきたいと思います。加えて、広域的な道路ネットワークをどう作るのかという議論も引き続きおこなっていただきたいと思っております。

本日は活発なご議論どうもありがとうございました。引き続き計画の

策定に取り組んでいただければと思っております。また、空間の使い方、人と車の割り振り方、自転車の駐輪施設をどうするのかなど、今後も議論を深めていくものもありますので、事務局でこれをまとめ、引き続きご協議いただければと思います。

以上で本日の議事は終了します。

(5) その他

事務局より、今後のスケジュール及び次回懇談会について説明。

- ・ パブリックコメントを1ヶ月程度実施し、計画(案)取りまとめを進めていく。
⇒ 計画(案)取りまとめにあたり、最終確認を森本会長に一任することについて、委員了承
- ・ 「JR宇都宮駅西口周辺地区整備検討懇談会」として会を継続し、駅前広場の設計の取りまとめ状況等について共有し、意見を伺う。

(6) 閉会